

Weekly Michael's News

<今週の聖句>

2019年1月21日発行 No.95

『賜物にはいろいろありますが、それをお与えになるのは同じ霊です。務めにはいろいろありますが、それをお与えになるのは同じ主です。働きにはいろいろありますが、すべての場合にすべてのことをなさるのは同じ神です。一人一人に「霊」の働きが現れるのは、全体の益となるためです。』

(コリントの信徒への手紙 I 12:4~7)

<1・17阪神・淡路大震災…。24年の時を経てもこの痛みが語り掛けてくるものは…?>

先週の木曜日は、神戸にとって忘れることのできない「1・17」。壊滅的な被害をもたらした阪神・淡路大震災発生から24年目を迎えました。震災からの復興を伝えるニュースも多くみられる中、現在は記憶の風化が大きな課題となっており、追悼記念集会が行われた神戸市中央区の公園でも竹灯籠で「つなぐ」の言葉（去年は「伝」）が示されていました。震災から24年ということは、現在 KIU に集う学生のほとんどは震災発生時に生まれていない (!!) ということから、チャペルで開催したミニ写真展でも、多くの学生が足を止めて当時の被害状況を見つめていました。

2018年は、日本全国が本当に多くの災害に見舞われました。しかしその度に多くのボランティアが災害に苦しむ人の為に集まり、共に汗を流し、一日も早い復興に尽力しましたが、振り返ってみれば、この神戸の震災が近代日本ボランティアの幕開けとなった…と言えるかもしれません。名前に「神戸」の文字を載している KIU が、これからどのように歩むべきか、またどのような使命が与えられているかを今一度確認する時となったように思います。



今年のキーワードは「つなぐ」



チャペルでは写真展を開催、多くの学生が当時の被害を心に留める



<海外研修壮行礼拝を挙行!! 新しい出会いが新しい自分との出会いにつながる!!>

先週水曜日の夕方、この春休みを利用して短期間の留学（タイ・ベトナム・韓国の3コース）に参加する学生のために壮行礼拝が行われました!! 近年、東アジア近隣諸国の間で不安

定な情勢が続いています。しかし、そのような時代だからこそ、一人でも多くの学生が異なる文化や歴史を持つ国を理解し、生の交流を経験する事が求められると思います。参加される学生の上に豊かな祝福があるようお祈りしています!!



1月15日(火) ※この日は今年度ラストの音楽礼拝!!
オルガニストの伊藤純子先生の素敵な
演奏に耳と心を傾けました。



1月16日(水) テーマ:『愛』に生きるとは…?

近藤 剛(経済学部)

昨年来、多くの聖書翻訳が出版されており、色々な訳を目にする機会が増えた。それ自体は素晴らしい事だと思うが、よく思われるのが原文と訳の違いだ。特に新約聖書は原文がギリシャ語で書かれており、日本語に訳す時に適当な語がない場合にはあまり正確でない訳語に引きずられてしまうケースがある。今日の聖句コリント I 13 章は、結婚式でもよく読まれる「愛の定義」として有名な箇所だ。「愛は忍耐強く…」と始まるが、古い訳では「愛は寛容であり…」とされており、この「寛容」の原意では「怒るまでに時間がかかる」という意味の言葉が使われている。また最後の「すべてに耐える」は本来「譲歩する」という語だ。

これらを踏まえつつ私訳を展開するならば「愛は『譲り合い』であり『赦し』である」と言えないだろうか? そしてまた、このようにして「愛」を捉え直す時に、今日の社会が抱える課題との接点が浮き彫りになってくるように思う。宗教改革者 M・ルターは、「人間は、美しいから愛されるのではなく、愛されるから美しい」という言葉を残している。不寛容で愛の少ない社会に生きる私たちではあるが、まず私たち自身から愛の実践として「譲り合い」「赦し合う」生き方を始めたいと思う。



1月17日(木) テーマ:「潜在意識とは?」

利川 満(学院事務局)

「潜在意識」という言葉を聞いたことがあるだろうか? 願望実現や成功法則に関心がある人なら、この言葉を一度や二度くらいは聞いた事があると思う。幸福追求のための重要なファクターであるこの「潜在意識」とはそもそも何なのか? 私たちの意識には、自覚している部分(顕在意識)と自覚していない部分(潜在意識)がある。この重要性に一早く着目したのが有名な心理学者フロイトだ。彼の研究によって、潜在意識は、私たちの普段の行動、思考、意思決定に大きく関与している事が判明した。更に潜在意識を分解できるとしたのがスイスの心理学者ユングで、彼は人間の意識を氷山に例えて説明した。普段、私たちの意識は海の上に顔を出している氷山のようなもので、顕在意識は意識全体の中のほんの一部、意識の大部分を占める無意識は、生まれてから現在に至るまでの個人的な経験から構成された個人的無意識とその更に奥深くに広がる集合的無意識とから構成されていると提唱した。集合的無意識とは、個人の経験の領域を超えた人類に共通の無意識領域のことを指し、それぞれの願望を実現化するためには、この集合的無意識領域の活用が大きな鍵となる。これらの理論は「マーフィーの法則」などでも有名になり、ベストセラーにもなっているが、簡単に言えば潜在意識に自分の願望を刻み込むことで、その願望の実現を達成するというものだ。願望を意識するだけで、それが実現する…。聞いているとなんだが眉唾もののようにも思えるが、この続きは次回の奨励で明らかにしたい。

(文責:野間 光顕)